※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　理科

科目	生物基礎	単位数	2
使用教科書	改訂　新編　生物基礎（東京書籍）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	1	1
レポート	３通	３通
必要出席回数	４回	４回
テスト	○	○

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

スクーリングの際に、内容をまとめたプリント（スクーリングメモ）を配付します。そのプリントや教科書をよく読むと、レポートは完成させることができます。スクーリングに出席できなかった時間のプリントは後日、取りにきてください。
テストは主にレポートから出題します。問題数が多くなる傾向がありますので、レポートを全般的に幅広く勉強しましょう。
受験科目として「生物基礎」を選択する人は、別途問題演習が必要です。
上位科目「生物」の受講を考えている人は、必ずこの生物基礎を受講してください。

2　学習の到達目標

生物では、生物や生物現象について理解する分野である。生物基礎は、その基礎的なことを学ぶ科目である。
① 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
　生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
② 生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
③ 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

- 学習指導要領（第１章第２款の５）に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
前期	生物と遺伝子	・生物の特徴 ・遺伝子とそのはたらき	a. 生物の多様性と共通性、遺伝現象とDNA、生命活動に必要なエネルギーと代謝について興味関心を持つことができる。 b. 科学的な事物現象について科学的に考察し、表現している。 a. 実験などを行い、科学的に探究する技術を身につける。	・定期考査 ・メディア学習(学習報告書)	・定期考査 ・メディア学習(学習報告書)	・レポート ・スクーリング ・メディア学習(学習報告書)
後期	生物の体内環境の維持	・ヒトの体の調節	a. 基本的な概念や原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。 b. 科学的な事物現象について科学的に考察し、表現している。 a. 体内環境について、またその維持の仕組みについて興味関心を持つことができる。	・定期考査 ・メディア学習(学習報告書)	・定期考査 ・メディア学習(学習報告書)	・レポート ・スクーリング ・メディア学習(学習報告書)
	生物の多様性と生態系	・生物の多様性と生態系	a. 基本的な概念や原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。 b. 科学的な事物現象について科学的に考察し、表現している。 c. 植生およびその遷移、気候とバイオーム、生態系のバランスについて興味関心を持つことができる。	・定期考査 ・メディア学習(学習報告書)	・定期考査 ・メディア学習(学習報告書)	・レポート ・スクーリング ・メディア学習(学習報告書)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度